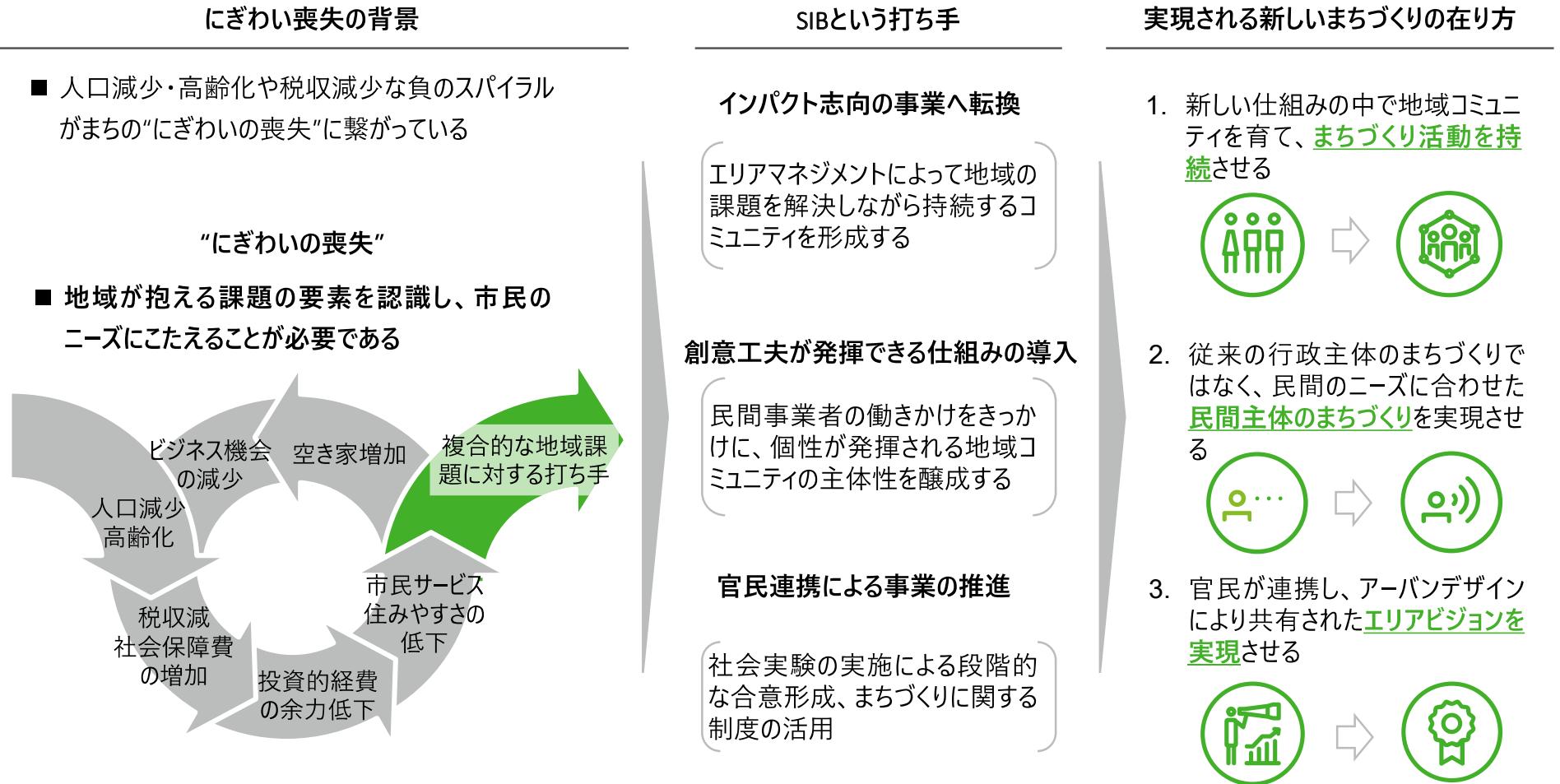


# 前橋市はSIB事業を通して、複雑な課題を様々なステークホルダーと共に解決し、地域の継続的な活性化を目指します

## 前橋市におけるSIB事業を通して実現したい姿



# 先進的都市計画である前橋市アーバンデザインにおいて実施される取り組みにSIBを導入し、民間のノウハウを活用したまちづくりを推進します

## SIB事業実施の背景となる都市計画の概要

**前橋市アーバンデザイン**

- まちの主役である民間の主体性を重視するため、民間主体のまちづくりを推進するために官民連携で長期計画を策定

基礎

- ワークショップを複数回実施し、民間の意見集約を行い、ビジョンを共有する

方向性

- エコ・ディストリクト…賑わい便利さの経済的側面、居心地・快適さ健康観の環境的側面を兼ね備えたエリア
- ミクストユース…住・職・商・学といった複数用途の混在
- ローカルファースト…地域固有の資源を最大限活用

指針

- ①まちなかで住み働く②水や緑の環境でリラックス③徒歩や自転車で回遊④広瀬川・利根川を楽しむ⑤通りや広場の活用⑥店のにぎわいを外で⑦文化を楽しむ⑧ICT等を活用

取組

- 主要な4エリアにおいて、空間を活用した社会実験を行う

場所

- 1 道路空間の利活用
- 2 水辺空間の利活用
- 3 道路空間の再配分による利活用
- 4 低未利用地の利活用

取り組み内容例

- 勉強会・出店イベント・リノベーション・実証エリアの美化・環境整備等

SIB事業実施想定範囲



市の取り組みは、国土交通省で推進されている市街地整備2.0の考え方とも整合する先進的都市計画である

**国土交通省 市街地整備2.0**

『「空間」・「機能」確保のための開発』から『「価値」・「持続性」を高める複合的更新』へ

- 目標  
エリアのビジョンを住民と共有し、社会実験・暫定利用・リノベーション等による公共空間再構築から市街地再開発へとポジティブスパイラルを創出し段階的にエリア価値・持続可能性を向上させる

エリア価値・持続可能性の向上

段階的かつ連鎖的な取組の展開

再開発事業

ポジティブスパイラル  
・できることからはじめ、大きく展開  
・PDCAを繰り返し、取組をUpdate

リノベーション

公共空間再構築

各地域のニーズに応じたるべき姿を検討し、合意形成を図りながら公民連携を図っていく

社会実験

地域の多様なステークホルダーとのエリアビジョンの共有

ポジティブスパイラルの土台となる社会インフラ

**賑わいのある中心市街地の実現を目指し、まちづくり人材の充実、魅力ある店舗・イベントの充実、デザインされたまちインフラの整備をKPIの柱として目標を設定します**

**るべき姿を実現するためのゴールセッティング**



# 前橋市では、「前橋市アーバンデザインモデルプロジェクト」を令和3年度から1.5年間かけて実施を行う予定です

## SIB事業概要

